

四天王寺悲田院こども園・研徳田

悲田院こども園は、創立からの理念を大切に幼保連携型認定こども園としてスタートします。様々な『つながり』を発展的に進め、人間形成の基礎を育むことを目的に、教育と保育を一体的に提供します。

また、コロナ禍で子育てを取り巻く環境が変化する中で、ニーズを的確に捉え、地域の子育ての拠点として事業を展開してまいります。

～具体的な事業活動～

(1) 保育 ～子どもの主体性を育む～

- ・子どもの「やってみよう」「やってみたい」という自発的、主体的な活動を援助し、「子どもが身につけることが望ましい心情・意欲・態度」を育む
- ・豊かな環境の中で、人との関わり方や社会性・協調性、思いやりの心を育て、自己コントロール力を育てます。

(2) 人財育成 ～キャリアアップに向けて～

- ・DO-CAPシートを活用し、目標の管理、評価を行い宣言の具現化に努めます。
- ・キャリアパスを明確にし、職員一人一人の資質や専門性の向上を図り、士気を高めます。
- ・個々の強みを発揮し、一体感と同僚性を高めあえる職場づくりを行います。

(3) 地域貢献 ～安心への架け橋～

- ・コロナ禍で交流が途絶え育児の孤独化が増える中、地域子育て家庭の保護者が気軽に訪れ、安心して相談できる体制を整えこども園の特性を活かした支援を行います。
- ・関係機関との連携を図り、地域の要保護児童への対応・早期の問題解決に努めます。

～改善活動～

(1) 保育の質の見直し

- ・委員会活動、職員研修を充実させ、マニュアルの見直しを行います。

(2) 行事等の役割について

- ・コロナ禍において、その動向や傾向を把握し、行事や交流活動の内容の見直しを図り、役割を果たすことが出来るよう努めます。